

## 討論メモ

令和8年3月17日

森田晃司

3月は、「イラン爆撃は収まるのか」と題して、イスラエル・アメリカの先制攻撃で始まり、出口の見えない様相を呈しているイラン戦争について考えてみました。最初に森田より、

- ① 。イスラエルがイラン爆撃を開始し多目的について、
- ② 。米国が参戦した理由について、
- ③ 。出口戦略について、

説明があり、日本のとるべき対応などについて考えてみました。

2. 続いて出席者6名による自由討論に移り、下記のような意見が出されました。

- ・米国内でのトランプ支持率は急降下しているようだ。国民の声でイランからの撤退を決断させてほしい。
- ・熱烈なトランプ支持者の間でもトランプ離れが起きている。
- ・11月の中間選挙に向けて反対の声を上げてほしい。
- ・共和党は中間選挙では負けるだろう。
- ・トランプは認知症との噂もあるが、弾劾裁判で引きずりおろす手もある。
- ・ヴェネズエラ作戦がうまく行き過ぎ、イランも簡単に降伏すると勘違いしたの

か。

- ・ AI によるシミュレーションに頼りすぎて、イラン民族の反発を読み違えたのか。

- ・ トランプの周りに人材がないようだ。

- ・ トランプは高関税政策などで FRB の弱体化を図ってきたが、これが金融資本の逆鱗に触れて、逆に追い詰められたのか。

- ・ 日米会談で高市首相は日本を破滅に追い込むような言質を取られないでほし

い。

- ・ 自衛隊派遣はできないとはっきり言うべきだ。トランプに嫌われることを恐れるべきではない。

- ・ G7 からこの戦争について米国を支持しない声が出ている。高市首相も上手にこの流れを使うべきだ。

- ・ スペイン、イタリア、ドイツは艦隊を派遣しないと声明している。

- ・ 日本は備蓄石油を放出する政策を早々と決めたが、備蓄を大切にし、石油消費を抑える政策をすべきではないか。

- ・ イランは負けない戦略で長期戦にも耐えられそうだが、長期戦になれば、イス

ラルはもたない。

・ホルムズ海峡は封鎖されたと言われるが、イランは敵対しなければ通すと言っている。現にインドのタンカーが通過したと伝えられている。

・高市政権はイランによる周辺国への爆撃を非難しているが、偏った、バランスを欠く対応だ。改めて、中立の立場をとるべきだ。

・かつて、田中角栄元首相は、米国の要請を断り、中東戦争で中東との友好を堅持、石油資源を死守した。(米国の逆鱗に触れて、その後、ロッキード事件を仕込まれて政治生命を絶たれた)。高市首相に爪の赤を煎じてもらいたいところだ。

・機雷を敷設したとの情報もある。駆逐艦などによる護衛も役に立たないと言われている。

・海峡を安全に航行するには停戦、あるいは終戦が必要だ。

以上